

教育・研究業績書

講座名 内科学(循環器)		
＜教員の紹介＞		
教授 石 光 俊 彦	講師 八 木 博	
准教授 錦 見 俊 雄	講師 矢 部 彰 久	
准教授 堀 中 繁 夫		
講師 小 林 直 彦		
講師 南 順 一		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月	概 要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 学生教育 1) 系統講義 a. 循環器病学	2004年5月～現在	<p>循環器系身体所見，心電図，心音図，心臓カテーター，高血圧，肺循環，心不全，不整脈などに関する系統的講義を行った。</p> <p>水・電解質，酸塩基平衡，原発性糸球体疾患，二次性糸球体疾患，急性腎不全，慢性腎不全，血液浄化療法などに関する系統的講義を行った。</p> <p>系統講義では教科書的な医学知識を網羅するとともに、効果的なプリントやスライドなどの教材の作成、すなわち典型的な画像を多く呈示するとともに、随所に問題演習や検査データの解析を配置し、能動的経験の要素を取り入れることにより学習効果を高める努力を行った。</p>
b. 腎臓病学		<p>水・電解質，酸塩基平衡，原発性糸球体疾患，二次性糸球体疾患，急性腎不全，慢性腎不全，血液浄化療法などに関する系統的講義を行った。</p> <p>系統講義では教科書的な医学知識を網羅するとともに、効果的なプリントやスライドなどの教材の作成、すなわち典型的な画像を多く呈示するとともに、随所に問題演習や検査データの解析を配置し、能動的経験の要素を取り入れることにより学習効果を高める努力を行った。</p>
2) 医師国家試験対策講義	2004年5月～現在	循環器病学，腎臓病学およびその縦割りの項目

<p>3) 臨床実習 (BSL)</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>にとらわれず、心電図、心臓超音波、放射線画像、病理組織などの観点から関連する事項を整理して解説するとともに、近年の出題傾向から重要性が高いと思われる事項の説明を強調した。</p> <p>担当した症例の主治医によるマンツーマン指導により、病歴の聴取、身体所見や基本的な診療手技などの教習を行った。</p> <p>准教授、講師がマンツーマンで学生に対応し、担当した症例に関連する医学的知識について課題を設定して取り組ませ、問題解決能力を評価した。</p> <p>心臓超音波、心臓カテーテル、腎組織標本の鏡検などの少人数セミナーを行い、その中で実際の検査機器やデータ画像に直に接し、専門のスタッフによる解説が行われた。</p>
<p>2. 卒後教育</p> <p>1) 研修医、レジデントの教育、指導</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>1,2年次の研修医に対しては、主治医とともに心血管疾患、腎疾患の入院患者を担当し、循環器系診療の基本的な検査、治療手技を指導した。</p> <p>3,4年次のレジデントにおいては、入院患者の担当を通じた研修とともに、専門医療チームに加わり、より専門性の高い検査、治療技術の指導を行った。</p>
<p>2) 大学院生、研究指導</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>心臓電気生理、心筋虚血、心機能・心不全、高血圧、腎病理、血管再生医療などの研究グループに加わり、各人のテーマに沿って研究を進める指導を行った。研究進行上の必要に応じ、超音波や電気データを計測する生理学的手法、蛋白や遺伝子の情報を解析する生化学的手法、病理組織学的な画像解析法を指導した。そして、研究成果を学会発表や論文作成の形でまとめることを促進した。</p>

② 作成した教科書、教材、参考書		
「高血圧診療マニュアル」	2007年7月	高血圧診療の具体的なノウハウを解説した臨床研修用教材。
「CKD 診療ガイド-高血圧編」	2008年7月	慢性腎臓病における血圧管理方針を学習するためのガイドブック。
「高血圧治療ガイドライン 2009」	2009年1月	わが国の高血圧診療のスタンダードを示す教科書的教材。
「CKD 診療ガイドライン 2009」	2009年3月	慢性腎臓病に対する診療のエビデンスを解説した参考書。
「高血圧専門医ガイドブック」	2009年4月	高血圧専門医を取得するための学習参考書。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	教授	石光 俊彦	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1983年9月～現在	日本高血圧学会員		
1983年11月～現在	日本腎臓学会員		
1984年4月～現在	日本循環器学会員		
1985年7月～現在	日本内科学会員		
1988年10月～現在	日本内科学会 認定内科医		
1991年12月～現在	日本透析医学会員		
1992年4月～現在	日本循環器学会 循環器専門医		
1995年4月～現在	日本腎臓学会 腎臓専門医		
1995年4月～現在	日本腎臓学会 指導医		
1997年4月～現在	日本高血圧学会 評議員		
1997年10月～現在	日本透析医学会 透析専門医		
1998年6月～現在	日本心臓病学会員		
2003年4月～現在	日本透析医学会 透析指導医		
2005年4月～現在	日本腎臓学会 評議員		
2009年4月～現在	日本高血圧学会 高血圧専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
欧文			
1. <u>Ishimitsu T</u> , Tsukada K, Minami J, Ono H, Matsuoka H: Adrenomedullin gene. In: Adrenomedullin in Cardiovascular Disease. Ed. by Nishikimi T, Springer, New York, pp41-60, 2005.			
和文			
1. <u>石光俊彦</u> : ELSA. 山口徹、日和田邦男、齋藤康編, DATA update循環系（第3版）. 先端医学社, 東京, pp250-251, 2004.			
2. <u>石光俊彦</u> : PLUR. 山口徹、日和田邦男、齋藤康編, DATA update循環系（第3版）. 先端医学社, 東京, pp282-283, 2004.			
3. <u>石光俊彦</u> : 高血圧の危険因子としての喫煙と適切な飲酒量. 島田和幸編, 高血圧診療のコツと落とし穴. 中山書店, 東京pp, 122-123, 2004.			
4. <u>石光俊彦</u> : 手術前後の血圧管理の留意点. 島田和幸編, 高血圧診療のコツと落とし穴. 中山書店, 東京, pp206-207, 2004.			
5. <u>石光俊彦</u> : DM腎不全とアドレノメデュリン遺伝子多型1. 伊藤克己, 遠藤仁, 御手洗哲也, 東原英二, 秋澤忠男編, Annual Review腎臓 2005. 中外医学社, 東京, pp40-44, 2005.			

6. 石光俊彦: 高齢者高血圧の診断のポイント—入院が必要な場合. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp25-28, 2007.
7. 石光俊彦: 高齢者高血圧の治療上の注意点—降圧薬治療の原則 (合併症のない場合). 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp37-43, 2007.
8. 石光俊彦: 高齢者高血圧の治療上の注意点—合併症がある場合 ①脳血管障害. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp48-53, 2007.
9. 石光俊彦: 血清尿酸値と微量アルブミン尿. 荻原俊男編, 日常臨床に役立つ高血圧診療のエビデンス. 先端医学社, 東京, pp84-85, 2008.
10. 石光俊彦: 高血圧リスクとして的高脂血症. 荻原俊男編, 日常臨床に役立つ高血圧診療のエビデンス. 先端医学社, 東京, pp118-119, 2008.

【原 著】

欧文

1. Ishimitsu T, Tsukada K, Ohta S, Inada H, Minami J, Ono H, Matsuoka H: Increased cardiovascular risk in long-term hemodialysis patients carrying deletion allele of ACE gene polymorphism. *Am J Kidney Dis* 44: 466-475, 2004.
2. Ishimitsu T, Ohta S, Saito M, Teranishi M, Inada H, Yoshii M, Minami J, Ono H, Hikawa A, Shibata N, Sugaya T, Kamiyo A, Kimura K, Ohri M, Matsuoka H: Urinary excretion of liver fatty acid-binding protein in health-check participants. *Clin Exp Nephrol* 9: 34-39, 2005.
3. Ishimitsu T, Kobayashi T, Honda T, Takahashi M, Minami J, Ohta S, Inada H, Yoshii M, Ono H, Matsuoka H: Protective effects of an angiotensin II receptor blocker and a long-acting calcium channel blocker against cardiovascular organ injuries in hypertensive patients. *Hypertens Res* 28: 351-359, 2005.
4. Ishimitsu T, Kameda T, Akashiba A, Takahashi T, Ando N, Ohta S, Yoshii M, Inada H, Tsukada K, Minami J, Ono H, Matsuoka H: Effects of valsartan on the progression of chronic renal insufficiency in patients with nondiabetic renal diseases. *Hypertens Res* 28: 865-870, 2005.
5. Ishimitsu T, Honda T, Ohta S, Akashiba A, Takahashi T, Kameda T, Yoshii M, Minami J, Takahashi M, Ono H, Matsuoka H: Cardiorenal protective effects of year-long antihypertensive therapy with an angiotensin-converting enzyme inhibitor or a calcium channel blocker in spontaneously hypertensive rats. *Am J Hypertens* 19 : 1233-1240, 2006.
6. Ishimitsu T, Kameda T, Akashiba A, Takahashi T, Ohta S, Yoshii M, Minami J, Ono H, Numabe A, Matsuoka H: Efonidipine reduces proteinuria and plasma aldosterone in patients with chronic glomerulonephritis. *Hypertens Res* 30: 621-626, 2007.
7. Ishimitsu T, Akashiba A, Kameda T, Takahashi T, Ohta S, Yoshii M, Minami J, Ono H, Numabe A, Matsuoka H: Benazepril slows progression of renal dysfunction in patients with non-diabetic renal disease. *Nephrology* 12: 294-298, 2007.
8. Ishimitsu T, Nakano N, Sudo Y, Akashiba A, Takahashi T, Ohta S, Minami J, Matsuoka H: Predictive significance of blood pressure values for the incidence of cardiovascular events in chronic hemodialysis patients. *Hypertens Res* 31: 1703-1709, 2008.

和文：

1. 石光俊彦, 太田智, 稲田英毅, 前田真由美, 吉井正義, 金子恵, 塚田高樹, 南順一, 小野英彦, 玉野宏一, 沼部敦司, 松岡博昭: 糖尿病合併高血圧患者の腎障害進展に対するベニジピンおよびエナラプリルの長期投与効果の比較. 血圧 11: 1243-1247, 2004.
2. 石光俊彦, 松本信子, 瀬田斉, 谷仲肇子, 松岡博昭: 透析患者における心血管系危険因子としてのアンジオテンシンIIの意義. 脈管学 47: 383-389, 2007.
3. 石光俊彦, 中野信行, 須藤泰代, 古堅聡, 赤芝聖, 亀田智子, 高橋利明, 太田智, 南順一, 沼部敦司, 岡村篤, 松岡博昭: 慢性血液透析患者におけるポリスチレン酸Na末とにおけるポリスチレン酸ゼリーの比較. 臨床透析 24: 1705-1710, 2008.

【症例報告】

和文

1. 千原由佳菜, 小野英彦, 小野祐子, 稲田英毅, 上田善彦, 藤盛孝博, 飯高和成, 石光俊彦, 楽木宏実, 荻原俊男, 松岡博昭: アンジオテンシンII受容体拮抗薬により蛋白尿減少効果と腎機能改善がみられた巣状糸球体硬化症の3例. 日本腎臓学会誌 46: 442-450, 2004.

【総 説】

欧文

1. Ishimitsu T, Ono H, Minami J, Matsuoka H: Pathophysiologic and therapeutic implications of adrenomedullin in cardiovascular disorders. Pharmacol Therapeut 111: 909-927, 2006.

和文

1. 石光俊彦: 避けるべき降圧薬の組み合わせ. 血圧 11: 689-692, 2004.
2. 石光俊彦: 高血圧の予後決定因子. 成人病と生活習慣病 34: 789-793, 2004.
3. 石光俊彦: アドレノメデュリン遺伝子発現調節. 日本臨床 62: 198-202, 2004.
4. 石光俊彦: 心血管イベントを予防する薬物治療は何か—高血圧治療薬. 内科 94: 312-317, 2004.
5. 石光俊彦: 糖尿病を合併した高血圧のコントロール. 血圧 11: 1205-1209, 2004.
6. 石光俊彦: 日本人の高血圧の特徴. 呼吸と循環 53: 91-95, 2005.
7. 石光俊彦: 蛋白尿、微量アルブミン尿. 血圧 12: 207-212, 2005.
8. 石光俊彦: 循環器疾患治療のトピックス: 高血圧—降圧薬併用療法の比較検討. Medicament News 1856: 5-7, 2005.
9. 石光俊彦: 日米の高血圧診療ガイドラインにおける降圧利尿薬の位置づけ—ALLHATのインパクト. 血圧 13: 27-32, 2006.
10. 石光俊彦: 早朝高血圧. 動脈硬化予防 5: 78-80, 2006.
11. 石光俊彦: 循環器疾患とストレス. 獨協医学会雑誌 33: 227-235, 2006.
12. 石光俊彦: 高血圧診療ガイドラインのエビデンス. クリニカルプラクティス 25: 1047-1053, 2006.
13. 石光俊彦: 酸化ストレスと高血圧、腎障害. Nephrology Frontier 6: 43-48, 2007.
14. 石光俊彦: 腎不全患者の血圧管理—保存期. 血圧 14: 793-799, 2007.
15. 石光俊彦: CKD患者における心・血管の評価. Medical Practice 25: 271-276, 2008.

16. 石光俊彦: わが国における高血圧大規模臨床試験の現況—日本が参加した国際的試験: PROGRESS, RENAALなど. 循環器科 64: 211-216, 2008.
17. 石光俊彦: 実験動物を用いた高血圧研究. アニテックス 20: 3-10, 2008.
18. 石光俊彦: 急な血圧上昇. 診断と治療 96 (Suppl): 257-266, 2008.
19. 石光俊彦: 糸球体濾過量と心臓—なぜCKDが注目されるのか? 心エコー 9: 684-692, 2008.
20. 石光俊彦: pre-hypertensionに対する薬物療法. 血圧 15: 707-711, 2008.
21. 石光俊彦: CKDと動脈硬化. 循環plus 9: 7-9, 2008.

【その他】

和文

1. 石光俊彦: WHO心血管疾患予防ガイドライン (翻訳). 松岡博昭監修, メディカルレビュー社, 大阪, 2008.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	准教授	錦見 俊雄	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1983年4月～現在	日本循環器学会員		
1983年9月～現在	日本高血圧学会員		
1984年3月～現在	日本心臓病学会員		
1986年4月～現在	日本内科学会員		
1988年3月～現在	日本心血管インターベンション学会員		
1991年4月～現在	日本内科学会 認定内科医		
1994年3月～現在	日本循環器学会 循環器専門医		
2001年4月～現在	日本高血圧学会 評議員		
2001年9月～現在	日本心臓病学会特別正会員（FJCC）		
2009年4月～現在	日本高血圧学会 高血圧専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
欧文			
1. <u>Nishikimi T</u> : Introduction, In: Adrenomedullin in Cardiovascular Disease. Ed. by <u>Nishikimi T</u> , Springer, New York, ppIX-X, 2005.			
2. <u>Nishikimi T</u> : Chapter 6, Circulating Adrenomedullin, Adrenomedullin in Cardiovascular Disease, In: Adrenomedullin in Cardiovascular Disease. Ed. by <u>Nishikimi T</u> , Springer, New York, pp105-130, 2005.			
3. <u>Nishikimi T</u> , Nagaya N, Kangawa K, Matsuoka H: Chapter 11, Therapeutic Application of Adrenomedullin, In: Adrenomedullin in Cardiovascular Disease. Ed. by <u>Nishikimi T</u> , Springer, New York, pp187-198, 2005.			
4. Nagaya N, <u>Nishikimi T</u> , Kangawa K: Chapter12, Therapeutic Potential of Adrenomedullin for Heart Failure and Pulmonary Hypertension, In: Adrenomedullin in Cardiovascular Disease. Ed. by <u>Nishikimi T</u> , Springer, New York, pp199-214, 2005.			
5. Minamino N, Horio H, <u>Nishikimi T</u> : Chapter 165, Natriuretic peptides in the cardiovascular system, In: The Handbook of Biologically Active Peptides. Ed. by Kastin AJ, Academic Press, San Diego, pp1217-1225, 2006.			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Nishikimi T</u> , Mori Y, Ishimura K, Tadokoro K, Yagi H, Yabe A, Horinaka S, Matsuoka H: Association of plasma atrial natriuretic peptide, N-terminal proatrial natriuretic peptide, and brain natriuretic peptide levels with coronary artery stenosis in patients with normal left ventricular systolic function. Am J Med 116: 517-523, 2004.			
2. <u>Nishikimi T</u> , Asakawa H, Tadokoro K, Mori Y, Iida H, Shibasaki I, Matsushita Y, Mori H, Mochizuki Y, Kangawa			

- K, Matsuoka H: Different secretion patterns of two molecular forms of cardiac adrenomedullin in pressure- and volume-overloaded human heart failure. *J Cardiac Failure* 10: 321-327, 2004.
3. Nishikimi T, Akimoto K, Wang X, Mori Y, Tadokoro K, Ishikawa Y, Shimokawa H, Ono H, Matsuoka H: Fasudil, a Rho-kinase inhibitor, attenuates glomerulosclerosis in Dahl salt-sensitive rats. *J Hypertens* 22: 1787-96, 2004.
 4. Nishikimi T, Wang X, Akimoto K, Tadokoro K, Mori Y, Ishikawa Y, Ishimura K, Yoshihara F, Minamino N, Kangawa K, Matsuoka H: Alteration of renal adrenomedullin and its receptor system in the severely hypertensive rat: effect of diuretic. *Regul Pept* 124: 89-98, 2005.
 5. Yoshihara F, Nishikimi T, Okano I, Hino J, Horio T, Tokudome T, Suga SI, Matsuoka H, Kangawa K, Kawano Y: Upregulation of intracardiac adrenomedullin and its receptor system in rats with volume overload-induced cardiac hypertrophy. *Regul Pept* 127: 239-244, 2005.
 6. Nishikimi T, Tadokoro K, Akimoto K, Mori Y, Ishikawa Y, Ishimura K, Horio T, Kangawa K, Matsuoka H: Response of adrenomedullin system to cytokine stimulation in cardiac fibroblasts -Role of adrenomedullin as an antifibrotic factor-. *Cardiovasc Res* 66: 94-103, 2005.
 7. Nishikimi T, Hagaman J, Takahashi N, Kim S, Matsuoka H, Smithies O, Maeda N: Increased susceptibility to heart failure in mice lacking natriuretic peptide receptor-A gene. *Cardiovasc Res* 66: 104-113, 2005.
 8. Yasu T, Nishikimi T, Kobayashi N, Ikeda N, Ueba H, Nakamura T, Funayama H, Kubo N, Kawakami M, Matsuoka H, Kangawa K, Saito M: Up-regulated synthesis of mature-type adrenomedullin in coronary circulation immediately after reperfusion in patients with anterior acute myocardial infarction. *Regul Pept* 129: 161-166, 2005.
 9. Ishimura K, Nishikimi T, Akimoto K, Ono H, Kangawa K, Matsuoka H: Renoprotective effect of long-term combined treatment with adrenomedullin and omapatrilat in hypertensive rats. *J Hypertens* 23: 2287-96, 2005.
 10. Hattori Y, Akimoto K, Nishikimi T, Matsuoka H, Kasai K: Activation of AMP-activated protein kinase enhances angiotensin ii-induced proliferation in cardiac fibroblasts. *Hypertension* 47: 265-270, 2006.
 11. Ishikawa Y, Nishikimi T, Akimoto K, Ishimura K, Ono H, Matsuoka H: Long-term administration of rho-kinase inhibitor ameliorates renal damage in malignant hypertensive rats. *Hypertension* 47: 1075-1083, 2006.
 12. Nishikimi T, Mori Y, Ishimura K, Ishikawa Y, Koshikawa S, Tadokoro K, Akimoto K, Ono H, Kangawa K, Matsuoka H: Chronic effect of combined vasopeptidase inhibition and adrenomedullin in heart failure in rats. *Am J Hypertens* 19: 1039-1048, 2006.
 13. Hattori Y, Hattori S, Akimoto K, Nishikimi T, Suzuki K, Matsuoka H, Kasai K: Globular adiponectin activates nuclear factor- κ B and activating protein-1 and enhances angiotensin II-induced proliferation in cardiac fibroblasts. *Diabetes* 56: 804-808, 2007.
 14. Caron K, Hagaman J, Nishikimi T, Kim HS, Smithies O: Adrenomedullin gene expression differences in mice do not affect blood pressure but modulate hypertension-induced pathology in males. *Proc Natl Acad Sci USA* 104: 3420-3425, 2007.
 15. Nishikimi T, Koshikawa S, Ishikawa Y, Akimoto K, Inaba C, Ishimura K, Ono H, Matsuoka H: Inhibition of Rho-kinase attenuates nephrosclerosis and improves survival in salt-loaded spontaneously hypertensive stroke-prone rats. *J Hypertens* 25: 1053-1063, 2007.

16. Koshikawa S, Nishikimi T, Inaba C, Akimoto K, Matsuoka H: Fasudil, a Rho-kinase inhibitor, reverses L-NAME exacerbated severe nephrosclerosis in spontaneously hypertensive rats. *J Hypertens.* 26:1837-1848, 2008.
17. Iemura-Inaba C, Nishikimi T, Akimoto K, Yoshihara F, Minamino N, Matsuoka H: Role of adrenomedullin system in lipid metabolism and its signaling mechanism in cultured adipocytes. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol* 295: R1376-R1384, 2008.
18. Nishikimi T, Ishikawa Y, Inaba C, Ishimura K, Tadokoro K, Koshikawa S, Ishikawa K, Akimoto K, Minamino N, Maeda N, Matsuoka H: Natriuretic peptide/natriuretic peptide receptor-A (NPR-A)/cGMP dystem has inhibitory effects in renal fibrosis in mice. *Regul Pept* 15: 44-53, 2009.

【症例報告】

【総 説】

欧文

1. Nishikimi T, Matsuoka H: Cardiac adrenomedullin, its role in cardiac hypertrophy and heart failure. *Curr Med Chem Cardiovasc Hematol Agents* 3: 231-242, 2005.
2. Nishikimi T, Maeda N, Matsuoka H: The role of natriuretic peptides in cardioprotection, *Cardiovasc Res* 69: 318-328, 2006.
3. Nishikimi T, Matsuoka H: Molecular mechanisms and therapeutic strategies of chronic renal injury, renoprotective effect of rho-kinase inhibitor in hypertensive glomerulosclerosis. *J Pharmacol Sci* 100: 22-28, 2006.
4. Nishikimi T: Adrenomedullin in the kidney. *Current Medical Chemistry* 14: 1689-1699, 2007.

【その他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	准教授	堀中 繁夫	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1982年4月～現在	日本循環器学会員		
1985年5月～現在	日本心電学会員		
1985年8月～現在	日本心臓病学会員		
1992年2月～現在	日本内科学会員		
1993年4月～現在	日本循環器学会 循環器専門医		
1996年7月～現在	日本心血管インターベンション学会員		
1997年2月～現在	日本循環器学会 関東甲信越支部評議員		
1998年4月～現在	日本不整脈学会員		
2003年12月～現在	日本内科学会 認定内科医		
2006年10月～現在	日本心不全学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 堀中繁夫：冠動脈疾患とCAVI. 折茂 肇、斎藤 康監修，新しい動脈硬化指標CAVIのすべて～基礎から臨床応用まで～. 日経メディカル開発，東京，pp116-120，2009.			
【原 著】			
欧文			
1. Minami J, Numabe A, Andoh N, Kobayashi N, <u>Horinaka S</u> , Ishimitsu T, Matsuoka H: Comparison of once-daily nifedipine controlled-release with twice-daily nifedipine retard in the treatment of essential hypertension. Br J Clin Pharmacol 57: 632-639, 2004.			
2. <u>Horinaka S</u> , Kobayashi N, Yabe A, Asakawa H, Yagi H, Mori Y, Tsubokou Y, Yoshida K, Nakano S, Matsuoka H: Nicorandil protects against lethal ischemic ventricular arrhythmias and up-regulates endothelial nitric oxide synthase expression and sulfonylurea receptor 2 mRNA in conscious rats with acute myocardial infarction. Cardiovasc Drugs Ther 18: 13-22, 2004.			
3. Yagi H, <u>Horinaka S</u> , Matsuoka H: Edaravone prevented deteriorated cardiac function after myocardial ischemia-reperfusion via inhibiting lipid peroxidation in rat. J Cardiovasc Pharmacol 46: 46-51, 2005.			
4. <u>Horinaka S</u> , Kobayashi N, Yagi H, Mori Y, Matsuoka H: Nicorandil but not ISDN upregulates endothelial nitric oxide synthase expression, preventing left ventricular remodeling and degradation of cardiac function in Dahl salt-sensitive hypertensive rats with congestive heart failure. J Cardiovasc Pharmacol 47: 629-635, 2006.			
5. Kono K, Todoroki M, Karasawa T, Ito I, Tadokoro K, Shinbo G, <u>Horinaka S</u> , Matsuoka H, Mochizuki Y: Delayed			

pericarditis associated with an implantable cardioverter defibrillator implantation using an active-fixation atrial lead. Pacing Clin Electrophysiol 31: 621-623, 2008.

6. Takemura N, Kono K, Tadokoro K, Shinbo G, Ito I, Abe C, Matsuhashi N, Iemura T, Nishikimi T, Horinaka S, Matsuoka H: Right atrial abnormalities in a patient with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy without ventricular tachycardia. J Cardiol 51: 205-209, 2008.
7. Horinaka S, Yabe A, Yagi H, Ishimura K, Hara H, Iemura T, Matsuoka H: Comparison of atherosclerotic indicators between cardio ankle vascular index and brachial ankle pulse wave velocity. Angiology 2008 Nov 17. [Epub ahead of print]

和文

1. 原均之, 堀中繁夫, 矢部彰久, 八木博, 坪光雄介, 吉田康太郎, 家村知海, 松岡博昭: 急性心筋梗塞再灌流療法後のニコランジルによる心室性不整脈抑制効果. 日本心臓病学会雑誌 49: 135-141, 2007.

【症例報告】

和文

1. 森陽祐, 堀中繁夫, 石村公彦, 中野滋文, 吉田康太郎, 矢部彰久, 松岡博昭: 胃大網動脈グラフト病変に対するインターベンションにて高度血管攣縮をきたし治療に難渋した一例. Japanese Journal of Interventional Cardiology 19: 256-259, 2004.
2. 高野幸一, 唐沢剛, 吉井正義, 原和義, 伊藤致, 田所寿剛, 箕田紳一郎, 堀中繁夫, 松岡博昭: 下壁誘導のJ波およびST上昇を認めBrugada症候群が疑われた1例. 不整脈 20: 415-418, 2004.
3. 矢部彰久, 高橋正樹, 堀中繁夫, 松岡博昭: 心アミロイドーシスの1例. THE CIRCULATION FRONTIER 9: 63-66, 2005.
4. 小林公也, 堀中繁夫, 小林芳久, 松岡博昭: 心筋梗塞に巨大心室瘤を合併し、ACE阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬等の使用により13年間良好に経過している1例. Therapeutic Research 27: 1871-1877, 2006.
5. 八木博, 越川省吾, 堀中繁夫, 松岡博昭: A-Cバイパス術後の川崎病患者における冠動脈瘤の経過観察に64列MSCTが有用であった1例. THE CIRCULATION FRONTIER 11: 52-55, 2007.
6. 須藤泰代, 高野幸一, 伊藤致, 新保悟朗, 阿部力, 武村直樹, 堀中繁夫, 松岡博昭: 副伝導路自動能と考えられる持続するwide QRS頻拍を標的に通電を行いアブレーションに成功したWPW症候群の1例. 心臓 39: 138-145, 2007.

【総 説】

和文

1. 原均之, 堀中繁夫, 石村公彦, 八木博, 吉田康太郎, 箕田紳一郎, 矢部彰久, 松岡博昭: ニコランジルの急性心筋梗塞再灌流療法後の心室性不整脈抑制効果. Therapeutic Research 27: 408-410, 2006.
2. 堀中繁夫, 山崎力, 鈴木信也, 興梠貴英, 永井良三: Japanese Coronary Artery Disease(JCAD)研究におけるニコランジルの心血管イベントへの影響について. Therapeutic Research 30: 299-302, 2009.

【その他】

和文

1. 堀中繁夫, 松岡博昭: 21世紀の不整脈診療: 高血圧と不整脈. 成人病と生活習慣病 36: 1305-1310, 2006.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	講師	小林 直彦	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1986年4月～現在	日本循環器学会員		
1986年8月～現在	日本心臓病学会員		
1986年8月～現在	日本老年医学会員		
1988年9月～現在	日本内科学会員		
1989年11月～現在	日本腎臓学会員		
1990年12月～現在	日本高血圧学会員		
1990年12月～現在	日本透析医学会員		
1991年2月～現在	日本脈管学会員		
1996年7月～現在	日本心血管内分泌代謝学会員		
1997年1月～現在	日本心不全学会員		
2000年11月～現在	日本NO学会員		
2002年4月～現在	日本高血圧学会 評議員		
2002年7月～現在	日本動脈硬化学会員		
2003年5月～現在	日本NO学会 評議員		
2003年10月～現在	日本心脈管作動物質学会員		
2003年11月～現在	日本脈管学会 評議員		
2003年11月～現在	日本心血管内分泌代謝学会 評議員		
2004年2月～現在	日本心脈管作動物質学会 評議員		
2004年4月～現在	日本動脈硬化学会 評議員		
2004年4月～現在	日本心不全学会 評議員		
2004年9月～現在	日本心臓病学会正会員 (FJCC)		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Minami J, Numabe A, Andoh N, <u>Kobayashi N</u> , Horinaka S, Ishimitsu T, Matsuoka H: Comparison of once-daily nifedipine controlled-release with twice-daily nifedipine retard in the treatment of essential hypertension. Br J Clin Pharmacol 57: 632-639, 2004.			
2. Horinaka S, <u>Kobayashi N</u> , Yabe A, Asakawa H, Yagi H, Mori Y, Tsubokou Y, Yoshida K, Nakano S, Matsuoka H: Nicorandil protects against lethal ischemic ventricular arrhythmias and up-regulates endothelial nitric oxide synthase expression and sulfonylurea receptor 2 mRNA in conscious rats with acute myocardial infarction.			

Cardiovasc Drugs Ther 18: 13-22: 2004.

3. Kobayashi N, Yoshida K, Mita S, Honda T, Hara K, Nakano S, Tsubokou Y, Matsuoka H: Betaxolol stimulates eNOS production associated with LOX-1 and VEGF in Dahl salt-sensitive rats. *J Hypertens* 22: 1397-1402, 2004.
4. Tojo A, Onozato ML, Kobayashi N, Goto A, Matsuoka H, Fujita T: Antioxidative effect of p38 mitogen-activated protein kinase inhibitor in the kidney of hypertensive rat. *J Hypertens* 23: 165-174, 2005.
5. Mita S, Kobayashi N, Yoshida K, Nakano S, Matsuoka H: Cardioprotective mechanisms of Rho-kinase inhibition associated with eNOS and oxidative stress-LOX-1 pathway in Dahl salt-sensitive hypertensive rats. *J Hypertens* 23: 87-96, 2005.
6. Kobayashi N, Hara K, Tojo A, Onozato ML, Honda T, Yoshida K, Mita S, Nakano S, Tsubokou Y, Matsuoka H: Eplerenone shows renoprotective effect by reducing LOX-1-mediated adhesion molecule, PKC ϵ -MAPK-p90RSK, and Rho-kinase pathway. *Hypertension* 45: 538-544, 2005.
7. Nakano S, Kobayashi N, Yoshida K, Ohno T, Matsuoka H: Cardioprotective mechanisms of spironolactone associated with the angiotensin-converting enzyme/epidermal growth factor receptor/extracellular signal-regulated kinases, NAD(P)H oxidase/lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1, and Rho-kinase pathways in aldosterone/salt-induced hypertensive rats. *Hypertens Res* 28: 925-936, 2005.
8. Li Y, Fukuda N, Kunimoto S, Yokoyama S, Hagikura K, Kawano T, Takayama T, Honye J, Kobayashi N, Mugishima H, Saito S, Serie K. Stent-based delivery of antisense oligodeoxynucleotides targeted to the PDGF A-chain decreases in-stent restenosis of the coronary artery. *J Cardiovasc Pharmacol* 48: 184-190, 2006.
9. Kobayashi N, Honda T, Yoshida K, Nakano S, Ohno T, Tsubokou Y, Matsuoka H. Critical role of bradykinin-eNOS and oxidative stress-LOX-1 pathway in cardiovascular remodeling under chronic angiotensin-converting enzyme inhibition. *Atherosclerosis* 187: 92-100, 2006.
10. Kobayashi N, Yoshida K, Nakano S, Ohno T, Honda T, Tsubokou Y, Matsuoka H: Cardioprotective mechanisms of eplerenone on cardiac performance and remodeling in failing rat hearts. *Hypertension* 47: 671-679, 2006.
11. Onozato ML, Tojo A, Kobayashi N, Goto A, Matsuoka H, Fujita T: Dual blockade of aldosterone and angiotensin II additively suppresses TGF-beta and NADPH oxidase in the hypertensive kidney. *Nephrol Dial Transpl* 22: 1314-1322, 2007.
12. Hirono Y, Yoshimoto T, Suzuki N, Sugiyama T, Sakurada M, Takai S, Kobayashi N, Shichiri M, Hirata Y. Angiotensin II receptor type 1-mediated vascular oxidative stress and proinflammatory gene expression in aldosterone-induced hypertension: the possible role of local renin-angiotensin system. *Endocrinology* 148: 1688-1696, 2007.
13. Yao EH, Fukuda N, Matsumoto T, Kobayashi N, Katakawa M, Yamamoto C, Tsunemi A, Suzuki R, Ueno T, Matsumoto K: Losartan improves the impaired function of endothelial progenitor cells in hypertension via an antioxidant effect. *Hypertens Res* 30: 1119-1128, 2007.
14. Yoshida K, Kobayashi N, Ohno T, Fukushima H, Matsuoka H: Cardioprotective effect of angiotensin II type 1 receptor antagonist associated with bradykinin-endothelial nitric oxide synthase and oxidative stress in Dahl salt-sensitive hypertensive rats. *J Hypertens* 25: 1633-1642, 2007.
15. Yu Y, Fukuda N, Yao EH, Matsumoto T, Kobayashi N, Suzuki R, Tahira Y, Ueno T, Matsumoto K: Effects of an ARB on endothelial progenitor cell function and cardiovascular oxidation in hypertension. *Am J Hypertens*

21: 72-77, 2008.

16. Ohno T, Kobayashi N, Yoshida K, Fukushima H, Matsuoka H: Cardioprotective effect of benidipine on cardiac performance and remodeling in failing rat hearts. *Am J Hypertens* 21: 224-230, 2008.
17. Kobayashi N, Ohno T, Yoshida K, Fukushima H, Mamada Y, Nomura M, Hirata H, Machida Y, Shinoda M, Suzuki N, Matsuoka H: Cardioprotective mechanism of telmisartan via PPAR- γ -eNOS pathway in Dahl salt-sensitive hypertensive rats. *Am J Hypertens* 21: 576-581, 2008.
18. Yao EH, Fukuda N, Matsumoto T, Katakawa M, Yamamoto C, Han Y, Ueno T, Kobayashi N, Matsumoto K: Effects of the antioxidative beta-blocker celiprolol on endothelial progenitor cells in hypertensive rats. *Am J Hypertens* 21: 1062-1068, 2008.
19. Kobayashi N, Takeshima H, Fukushima H, Koguchi W, Mamada Y, Hirata H, Machida Y, Shinoda M, Suzuki N, Yokotsuka F, Tabei K, Matsuoka H: Cardioprotective effects of pitavastatin on cardiac performance and remodeling in failing rat hearts. *Am J Hypertens* 22: 176-182, 2009.
20. Suzuki H, Toba K, Kato K, Ozawa T, Tomosugi N, Higuchi M, Kusuyama T, Iso Y, Kobayashi N, Yokoyama S, Fukuda N, Saitoh H, Akazawa K, Aizawa Y: Serum hepcidin-20 is elevated during the acute phase of myocardial infarction. *Tohoku J Exp Med* 218: 93-98, 2009.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	講師	南 順一	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1992年4月～現在	日本循環器学会員		
1992年9月～現在	日本内科学会員		
1994年5月～現在	日本腎臓学会員		
1994年11月～現在	日本高血圧学会員		
1995年9月～現在	日本内科学会 認定内科医		
1997年5月～現在	日本透析医学会員		
1997年12月～現在	日本内科学会 内科専門医		
1999年3月～現在	日本循環器学会 循環器専門医		
2000年4月～現在	日本腎臓学会 腎臓専門医		
2000年11月～現在	日本透析医学会 透析専門医		
2002年4月～現在	日本高血圧学会 評議員		
2005年4月～現在	日本腎臓学会 指導医		
2006年4月～現在	日本腎臓学会 評議員		
2006年10月～現在	日本禁煙学会員		
2006年10月～現在	日本禁煙学会 認定専門指導医		
2009年4月～現在	日本高血圧学会 高血圧専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
欧文			
1. Ishimitsu T, Tsukada K, <u>Minami J</u> , Ono H, Matsuoka H: Adrenomedullin gene. In: Adrenomedullin in Cardiovascular Disease. Ed. by Nishikimi T, Springer, New York, pp41-60, 2005.			
和文			
1. <u>南順一</u> , 松岡博昭, 石光俊彦: 高血圧一中等症, 重症高血圧における β 遮断薬の位置付け. 荻原俊男, 築山久一郎, 横山光宏編, β 遮断薬のすべて(第2版). 先端医学社, 東京, pp126-133, 2004.			
2. <u>南順一</u> , 石光俊彦, 松岡博昭: 血圧の正しい測定法. 二瓶宏監修, 北岡建樹, 塩之入洋, 飯野靖彦, 木村健二郎編, 知っておくべき高血圧の知識2004-2005. 東京医学社, 東京, pp80-84, 2004.			
3. <u>南順一</u> , 石光俊彦, 松岡博昭: 降圧薬服薬忘れへの対応と注意は? 二瓶宏監修, 北岡建樹, 塩之入洋, 飯野靖彦, 木村健二郎編, 知っておくべき高血圧の知識2004-2005. 東京医学社, 東京, pp400-401, 2004.			
4. <u>南順一</u> , 松岡博昭: 白衣高血圧・早朝高血圧. 山口徹, 堀正二編, 循環器疾患最新の治療2006-2007. 南江堂, 東京, pp381-384, 2006.			
5. <u>南順一</u> , 阿部力, 松岡博昭: 低血圧症. medicina編集委員会編, Common Diseaseインストラクションマニュアル			

患者に何をどう説明するか. 医学書院, 東京, pp80-82, 2006.

6. 南順一: BP variability, ambulatory and home BP 1. 松岡博昭編, 2006 ISH HIGHLIGHTS. メディカル・ジャーナル社, 東京, pp120-124, 2007.
7. 南順一: 高齢者高血圧の診断のポイント—血圧の測定値とその評価. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp14-18, 2007.
8. 南順一: 高齢者高血圧の診断のポイント—外来でなすべきこと. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp19-24, 2007.
9. 南順一: 高齢者高血圧の治療上の注意点—生活習慣修正のポイント. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp29-36, 2007.
10. 南順一: 高齢者高血圧の治療上の注意点—降圧薬一覧. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp44, 2007.
11. 南順一: 高齢者高血圧の治療上の注意点—合併症がある場合 ⑤整形外科的疾患、認知症、うつ病など. 高齢者高血圧の診断のポイント—血圧の測定値とその評価. 松岡博昭編, これだけは知っておきたい日常診療のポイント 高齢者高血圧. 医薬ジャーナル社, 大阪, pp77-80, 2007.
12. 南順一: 小児の高血圧. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp29-34, 2007.
13. 南順一: 関節リウマチ. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp155-156, 2007.
14. 南順一: 腰痛症, 膝関節症, 骨粗鬆症. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp157-160, 2007.
15. 南順一: うつ病, うつ状態. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp170-173, 2007.
16. 南順一: パニック障害. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp174-175, 2007.
17. 南順一: 更年期障害. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp176-180, 2007.
18. 南順一: 認知症. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp181-184, 2007.
19. 南順一: 高齢者の歯科治療. 松岡博昭編, 高血圧診療マニュアル. フジメディカル出版, 大阪, pp190-193, 2007.
20. 南順一, 松岡博昭: 高血圧の非薬物療法. 堀正二, 永井良三編, 循環器疾患最新の治療 2008-2009. 南江堂, 東京, pp424-427, 2008.
21. 南順一, 阿部麗子, 大野絵里: PWVとAI: 関連と相関. 小澤利男編, 新しい血圧測定と脈波解析マニュアル. メディカルビュー社, 東京, pp44-48, 2008.
22. 南順一: メタボリックシンドロームと虚血性心疾患. 片山茂裕編, キーワードでわかる! メタボリックシンドローム. 中外医学社, 東京, pp245-247, 2008.
23. 南順一: メタボリックシンドロームと喫煙. 片山茂裕編, キーワードでわかる! メタボリックシンドローム. 中外医学社, 東京, pp253-256, 2008.

【原 著】

欧文

1. Minami J, Numabe A, Andoh N, Kobayashi N, Horinaka S, Ishimitsu T, Matsuoka H: Comparison of once-daily nifedipine controlled-release with twice-daily nifedipine retard in the treatment of essential hypertension. Br J Clin Pharmacol 57: 632-639, 2004.
2. Minami J, Andoh N, Yoshii M, Ishimitsu T, Matsuoka H: Present status of blood pressure control in a group

- of hypertensive patients followed-up in the cardiovascular outpatient clinic. Dokkyo Journal of Medical Sciences 31: 109-115, 2004.
3. Minami J, Nishikimi T, Matsuoka H: Plasma brain natriuretic peptide and N-terminal proatrial natriuretic peptide levels in obese patients: a cause or result of hypertension? Circulation 110: e76, 2004.
 4. Yoshii M, Minami J, Ishimitsu T, Yamakoshi K, Matsuoka H: Non-invasive monitoring of hemodynamic changes during hemodialysis by the use of a newly developed admittance cardiograph. Ther Apher Dial 9: 154-160, 2005.
 5. Ishimitsu T, Ono H, Minami J, Matsuoka H: Pathophysiologic and therapeutic implications of adrenomedullin in cardiovascular disorders. Pharmacol Ther 111: 909-927, 2006.
 6. Ando N, Minami J, Ishimitsu T, Ohru M, Matsuoka H: Relationship between markers of inflammation and brachial-ankle pulse wave velocity in Japanese men. Int Heart J 47: 409-420, 2006.
 7. Minami J, Abe C, Akashiba A, Takahashi T, Kameda T, Ishimitsu T, Matsuoka H: Long-term efficacy of the combination therapy with losartan and low-dose hydrochlorothiazide in patients with uncontrolled hypertension. Int Heart J 48: 177-186, 2007.
 8. Ishimitsu T, Akashiba A, Kameda T, Takahashi T, Ohta S, Yoshii M, Minami J, Ono H, Numabe A, Matsuoka H: Benazepril slows progression of renal dysfunction in patients with non-diabetic renal disease. Nephrology (Carlton) 12: 294-298, 2007.
 9. Minami J, Ishimitsu T, Matsuoka H: Can large-scale trials or meta-analyses demonstrate blood pressure-independent effect of angiotensin receptor blockers? Hypertension 50: e73, 2007.
 10. Abe C, Minami J, Ohru M, Ishimitsu T, Matsuoka H: Lower birth weight is associated with higher resting heart rate during boyhood. Hypertens Res 30: 945-950, 2007.
 11. Minami J, Ishimitsu T, Matsuoka H: Pretreatment plasma renin activity levels correlate with the blood pressure response to telmisartan in essential hypertension. Am J Hypertens 21: 10-13, 2008.
 12. Minami J, Ishimitsu T, Matsuoka H: Is there overlap in blood pressure response to the blockers of the renin-angiotensin system between lower and higher renin subjects? Am J Hypertens 21: 130-131, 2008.
 13. Ishimitsu T, Nakano N, Sudo Y, Akashiba A, Takahashi T, Ohta S, Minami J, Matsuoka H: Predictive significance of blood pressure values for the incidence of cardiovascular events in chronic hemodialysis patients. Hypertens Res 31: 1703-1709, 2008.
 14. Nishimura FT, Kimura Y, Abe S, Fukunaga T, Minami J, Tanii H, Saijoh K: Effects of functional polymorphisms related to catecholaminergic systems on changes in blood catecholamine and cardiovascular measures after alcohol ingestion in the Japanese population. Alcohol Clin Exp Res 32: 1937-1946, 2008.
 15. Whincup PH, Kaye SJ, Owen CG, Huxley R, Cook DG, Anazawa S, Barrett-Connor E, Bhargava SK, Birgisdottir BE, Carlsson S, de Rooij SR, Dyck RF, Eriksson JG, Falkner B, Fall C, Forsén T, Grill V, Gudnason V, Hulman S, Hyppönen E, Jeffreys M, Lawlor DA, Leon DA, Minami J, Mishra G, Osmond C, Power C, Rich-Edwards JW, Roseboom TJ, Sachdev HS, Syddall H, Thorsdottir I, Vanhala M, Wadsworth M, Yarbrough DE: Birth weight and risk of type 2 diabetes. A systematic review. JAMA 300: 2886-2897, 2008.
 16. Minami J, Furukata S, Ishimitsu T, Matsuoka H: Comparison of therapies between fixed-dose telmisartan/hydrochlorothiazide and losartan/hydrochlorothiazide in patients with mild to moderate hypertension. Int Heart J 50:85-93, 2009.

和文

1. 南順一, 石光俊彦, 松岡博昭: 高血圧治療におけるロサルタンと低用量利尿薬併用療法の有用性. 日腎会誌 47: 864-869, 2005.
2. 南順一, 竹下正昭, 大野絵里, 古堅聡, 阿部麗子, 阿部力, 小堀哲雄, 石光俊彦, 松岡博昭: 高血圧治療におけるロサルタンとヒドロクロチアジドの配合剤(プレミネントTM錠)の臨床的有用性についての検討. 医学と薬学 58: 115-119, 2007.

【症例報告】

【総 説】

和文

1. 南順一: 議論的のとされる降圧薬の作用～降圧か臓器保護か～. 循環Plus 6: 7-9, 2006.
2. 南順一: 大規模臨床試験を高血圧診療に生かす～高血圧合併症の予防のために～. 高崎医学 57: 32-39, 2007.
3. 南順一: 中心血圧/AIと日内変動との関連性について教えてください. Arterial Stiffness 14: 114-115, 2008.
4. 南順一: ABPMを保健指導に生かすには? 血圧 16: 327-329, 2008.
5. 南順一: 高血圧ガイドラインにおける栄養治療の位置づけと実際. 栄養—評価と治療 26: 106-109, 2009.

【そ の 他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	講師	八木 博	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1992年4月～現在	日本循環器学会員		
1992年10月～現在	日本心臓病学会員		
1993年4月～現在	日本内科学会員		
1996年4月～現在	日本心血管インターベンション学会員		
2001年10月～現在	日本心血管インターベンション学会 認定医		
2002年9月～現在	日本内科学会 認定内科医		
2004年3月～現在	日本循環器学会 循環器専門医		
2009年5月～現在	日本心臓リハビリテーション学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
Yagi H, Horinaka S, Matsuoka H: Edaravone prevented deteriorated cardiac function after myocardial ischemia-reperfusion via inhibiting lipid peroxidation in rat. J Cardiovasc Pharmacol 46: 46-51, 2005.			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Horinaka S, Yabe A, <u>Yagi H</u> , Ishimura K, Hara H, Iemura T, Matsuoka H: Comparison of atherosclerotic indicators between cardio ankle vascular index and brachial ankle pulse wave velocity. Int J Cardiol 98: 99-105, 2005.			
2. Horinaka S, Kobayashi N, <u>Yagi H</u> , Mori Y, Matsuoka H: Nicorandil but not ISDN upregulates endothelial nitric oxide synthase expression, preventing left ventricular remodeling and degradation of cardiac function in Dahl salt-sensitive hypertensive rats with congestive heart failure. J Cardiovasc Pharmacol 47: 629-635, 2006.			
3. Hara H, Horinaka S, Yabe A, <u>Yagi H</u> , Tsuboko Y, Yoshida K, Iemura T, Matsuoka H: Suppressive effect of nicorandil in ventricular arrhythmias after reperfusion therapy in patients with acute myocardial infarction. J Cardiol 49: 135-141, 2007.			
和文			
1. <u>八木 博</u> : 実地臨床におけるアムロジピン 10mg/日投与の降圧効果の検討. 診療と新薬 43: 108-112, 2006.			
【症例報告】			
和文			
1. <u>八木 博</u> : A-Cバイパス術後の川崎病患者における冠動脈瘤の経過観察に 64 列MSCTが有用であった 1 例. THE CIRCULATION FRONTIER 11: 52-55, 2007.			
【総 説】			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
内科学（循環器）	講師	矢部 彰久	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1989年4月～現在	日本循環器学会員		
1990年12月～現在	日本内科学会員		
1993年5月～現在	日本心血管インターベンション学会員		
2001年10月～現在	日本心血管インターベンション学会 認定医		
2001年10月～現在	日本心血管インターベンション学会 指導医		
2004年9月～現在	日本内科学会 認定内科医		
2006年4月～現在	日本循環器学会 循環器専門医		
2006年12月～現在	日本内科学会 総合内科専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Nishikimi T, Mori Y, Ishimura K, Tadokoro K, Yagi H, <u>Yabe A</u> , Horinaka S, Matsuoka H: Association of plasma atrial natriuretic peptide, N-terminal proatrial natriuretic peptide, and brain natriuretic peptide levels with coronary artery stenosis in patients with normal left ventricular systolic function. Am J Med 15: 116, 2004.			
和文			
1. 原均之、堀中繁夫、 <u>矢部彰久</u> 、八木博、坪光雄介、吉田康太郎、家村知海、松岡博昭：急性心筋梗塞再灌流療法後のニコランジルによる心室性不整脈抑制効果。日本心臓病学会雑誌 49: 135-141, 2007.			
【症例報告】			
和文			
1. <u>矢部彰久</u> 、高橋正樹、堀中繁夫、松岡博昭：心アミロイドーシスの1例。THE CIRCULATION FRONTIER 9: 63-66, 2005.			
【総 説】			
【そ の 他】			